

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！



一年の始まりに変わらぬ使命

本消防本部では、本年1月5日(月)『年頭視閲式』を開催しました。この『年頭視閲式』とは、年頭に当たり、職員の厳正な規律の保持と士気の高揚を図るもので、例年実施しています。式典では、各職員が管理者である松浦湖南市長、本消防本部藤川消防長による年頭訓示と視閲を受け、安心・安全なまちづくりへの気持ちを新たにしました。

また、1月11日(日)には甲賀市で、1月18日(日)には湖南市でそれぞれ消防出初式が執り行われました。消防出初式は、年頭にあたり消防団員や消防職員をはじめとする防災関係者の団結と士気を高めるとともに、住民の防火思想の普及を図ることを目的に毎年両市で執り行われている式典です。式典では、分列行進や車両パレード、消防団員に対する表彰の他、滋賀県消防協会甲賀広域支部が甲賀市及び湖南市の小学校6年生を対象に実施しました「2025夏休みこども防火せんりゅう」の各入賞者に対し、表彰式を実施しました。今後も全職員がより一層結束を高め、消防業務に取り組んでいきますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



安心の灯を今年も地域へ



文化財防火運動に係る
各種事業を実施しました！

本消防本部では、市民共
有の財産である文化財を
火災等の災害から守ること
を目的として文化財防火
デーである1月26日を中心
とした1月23日から29日ま
での7日間、文化財防火運
動を実施しました。文化財
防火デーとは、昭和24年1
月26日、現存する世界最古
の木造建築物である法隆寺
の金堂で火災が発生し、貴重
な建物や文化財が焼失したこ
とをきっかけに定められまし
た。期間中はポスター配布、
巡回広報、関係者との合同訓
練、特別査察などを実施し、
文化財の関係者や市民の皆さ
んの文化財愛護に関する意識
の高揚を図りました。

消防職員意見発表会本部選考会



#若手職員
#熱弁



令和7年12月17日(水)、第51回滋賀県消防職員意見発表会出場に係る本部選考会を開催しました。

『意見発表会』とは、消防職員が日頃の業務に対する問題点などを考察し、消防業務のあるべき姿や職場においての提案・取組を発表する場として、毎年開催しているものです。

本部選考会では、各消防署から選出された代表4名の職員がさまざまな視点から意見を発表しました。

信楽消防署 山田照伊副士長は『使われてこそ価値になる』と題し、消防行政におけるDX化の推進を提案しました。

水口消防署 福岡紫恩副士長は『感謝で深める絆の輪』と題し、感謝を伝えることで職員同士の絆やチームとしての一体感を深め、強い組織を構築することを提唱しました。

湖南中央消防署 富井泰造消防士は『思いやりのある職場環境』と題し、相手の気持ちに目を向け、言葉にし、支え合う環境を作ることだと思いやりのある職場を作ることだを提唱しました。

甲南消防署 伊室舜将消防士は『アジャイル型ポンプ操法』と題し、ポンプ操法において指導員と団員がともに課題を抽出し、PDCAサイクルにより探索・適応を繰り返すことで、多様な災害に対応できる能力を身に付ける指導方法を提案しました。

今回の選考会により選抜された水口消防署 福岡副士長と湖南中央消防署 富井消防士は、2月5日に開催される第51回滋賀県消防職員意見発表会に出場しました。

なお、県大会の結果については、消防本部公式SNS等でお知らせしています。

令和7年甲賀消防管内
災害発生状況(12月末現在)

火災	84件
救急	6,461件
救助	119件
その他	398件



3月1日～3月7日

甲賀消防
公式SNS



Facebook

<https://www.facebook.com/kokashobo.119/>



Instagram

<https://www.instagram.com/kokashobo.119/>

「いいね!」「フォロー」お待ちしております。

Information
いろいろ
情報板